

住吉 秀公 議員
高齢者福祉



Q 認知症サポーターの活動活性化を

A 活動につながるよう努めていく

質問(議員) 認知症サポーターステツプアップ研修会を行い、地域における活動活性化を実施してはどうか。

答弁(町長) 認知症サポーター養成講座を修了した方々に復習を兼ねて学習していただき、活動につながるよう努めていく。あわせて、サポーターの活動の受け皿となる認知症カフェなどを実施する。

Q 離婚前後の子どもの養育支援を

A 影響を軽減できるよう取り組む

質問(議員) 親の離婚が子供に与える経済的・心理的負担が大きいため、離婚前後の子どもの養育支援を実施してはどうか。

答弁(町長) 子どもたちに与える影響を少しでも軽減できるよう取り組んでいく。

●弾道ミサイル落下時の行動の周知を



認知症高齢者に優しい町を

その他の質問

Q 地権者との協議の進捗状況は

A 方向性が固まりつつあると聞いている

質問(議員) 民間宅地における商業施設について、現時点で地権者との協議はどのような進捗状況か。

答弁(町長) 土地の権利者において方向性が固まりつつあると聞いている。

質問(議員) 300人程度収容の音楽専門ホールを提案しては。

答弁(町長) 新海田公民館にホールを整備するので考えていない。

Q 通学路を見直しては

質問(議員) 海田中学校西交差点を南に入った道路は交通量が多く保護者から不安の声が上がっているの見直してはどうか。

答弁(教育長) 保護者から要望は受けていないが、安全確保に努める。

質問(議員) 海田中学校プール跡地横に歩道を整備してはどうか。

答弁(教育長) 調査研究する。

富永 やよい 議員
海田市駅南口ビジョン



ここに歩道があったら安全ですね

Q ヘルプカードと合わせ、普及促進を

A 海田町が作製し希望者に無料で配布

質問(議員) ヘルプマーク・ヘルプカードについて町の認識は。ヘルプマーク・ヘルプカードの作製や活用はどのように考えているか。

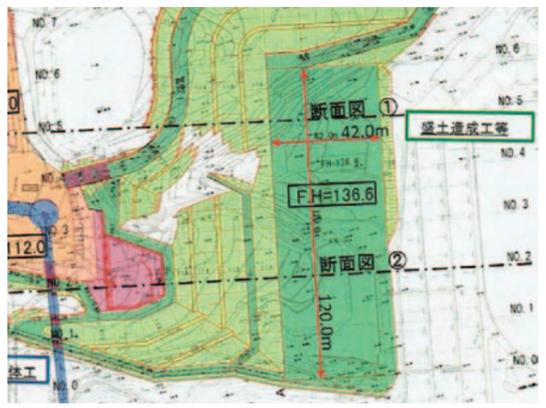
答弁(町長) ヘルプマークは義足や人工関節を使用している人、内部障がいや難病の人、妊娠初期の人など、外見からはわからなくても周囲からの配慮や援助の必要を知らせるマークである。また、ヘルプカードは障がいのある人

などが災害時など、緊急連絡先や必要とする支援内容を伝えるカードで、その活用が大変重要と考える。すでに導入している広島県と連携し、ヘルプマーク・ヘルプカードの配布を無料で行う。今後、広報誌やホームページなどで周知し、普及促進に取り組む。



はやく配布を

小田 久美子 議員
ヘルプマーク



工夫してもっとグラウンドを広く

Q 広島県との協議が中途半端では

A 総合公園整備事業に支障がないよう連携する

質問(議員) 総合公園の広島県工業用水道の工事を行っている場所への陸上競技場の整備について、協議が足りないのではないか。

答弁(町長) 広島県が発生残土を利用した多目的グラウンドの盛土、法面工事、雨水排水施設・洪水調整池を施工することで合意した。今後も海田総合公園整備に支障がないよう連携する。

質問(議員) 法面は、維持管理が大変。町がしっかりとした計画を策定し、安価な工法で法面(上の図の薄緑色部分)をな

くしてグラウンドを広げ、維持管理も容易になるよう県と引き続き協議すべきでは。

答弁(建設部長) 合意はしているが、そのことも含め、引き続き協議を進める。